



2017年11月号

とらきち君からの手紙

発行責任者
小野 義廣

はじめてとらきち君からの手紙を読む方へ、はじめ君とよう君は店長の孫です。多少の可愛いがりすぎは、お許し下さい。



はじめくんとようくんは、お客様から頂いた手作りのお団子を完食！本物はウマイよね！
昨今、新型栄養失調という言葉が知名度を上げてきました。特に子供。カロリー過多で、体はでかいが、中身は栄養素不足で骨折、皮膚炎、発達障害、いじめ、突発的な怒り等様々な障害がでる病気？です。



「人の身体は食べ物で出来ている」とは、ボクの口癖ですが、ホントです。お母さんが働くのは反対じゃありませんが、子供にお金だけをあげて「好きなもの食べなさい」ってのは止めて欲しいです。子供の主食がマクドナルドのハンバーガーやスナック菓子だったら、栄養失調も当たり前ですね！

最近の子供は、本物の食事、例えば、割烹の日本料理、フランス料理のフルコースなどを食べさせると「まずい」という子もいるらしい!?
砂糖と油と添加物の味にならされた結果です。できるだけ、はじめくんとようくんには本物の味を覚えさせたいです！10年後の子供が心配！

【今日の元気になる言葉】

辛いのは
幸せになる
途中です！

先日のボクの休みの日に、何年かぶりに映画館で映画を見ました。今は、便利な時代で、インターネットに繋がれば、無料でちよつと前の映画なら何本でも見ることができます。
薬局仲間から「おのちゃん、この映画は見た方がよいよ」と勧められたのは「僕のワンダフルライフ」と「エルネスト」。

海老名にあるTOHOシネマで見ました。9時30分と12時10分上映だったので、待ち時間もほとんどなく2本連続で見ることができました。
しかも、シニア割引で1,800円のところ1,100円と嬉しい価格！年をとると得をすることもあんです。1本目の「僕のワンダフルライフ」は泣けました(T_T)犬好きの方は是非見られるといいですよ！但し、ティッシュBOX1箱持参でね！



この映画の主人公は、ゴールデンレトリバーのベイリー。ベイリーはあることをきっかけに、自分の命を救ってくれたイーサンのペットとして飼われることとなります。それぞれにとって、かけがえのない家族のような存在になり、どんどん絆が深まっていきましました。

そして、先に亡くなってしまいうベイリーは、来世もイーサンのもとで暮らしたいと熱望し、50年の間に3度も違う犬として生まれ変わって、イーサンと再会するという話です。いつも犬から目線で、人間を見てる映画。天国に行っちゃったロコも、ボクの事をこんな風に見ていてくれたのかなあ〜と思うと、涙が止まりませんでした。いい映画でした。



もう1本の「エルネスト」。キューバ革命の歴史的英雄、チェ・ゲバラと共にボリビア戦線で闘った日系人青年、フレディー前村ウルタードの半生を描いた映画。舞台はキューバですが、りっぱな日本映画です。そして、このフレディーを演ずる主人公は、オダギリジョー。

この映画、内容はともかく、感動するのはオダギリジョーの熱演です。この映画のために12kg減量し、スペイン語を完璧にマスターして数奇な運命をたどった主人公を熱演しています。日本語もまともにしゃべれないボクなのに、スペイン語ですよ！俳優さんてすごいなあと思いました。

水野晴郎さん名台詞の「いやあ〜、映画って本当(ほんつとう)にいいものですね」って思い出しました。映画館は、非日常の世界です。大画面の中で、大音響の下、普段の日常からキッパリ離れることができます。ストレス解消にはとても良いと思いました。また、シニア割引を使って観に行こうと思います！

最近の相談では、自律神経からきているものが多いです。この原因は、日本には四季がなくなってしまうことが関係しています。ここ10年位前から、春と秋がなくなると感じませんか？冬から夏、夏から冬に急に変化します。脳と体が同時進行しないのです。お医者さんにかかると、「うつ病の薬」が処方される事が多いです。その前にオノドラへ(*^_^*)